

エネルギー教育関連教材

教材名：「PIKO PIKO 検流計」No.31

領域・学年：理科・小学校3学年

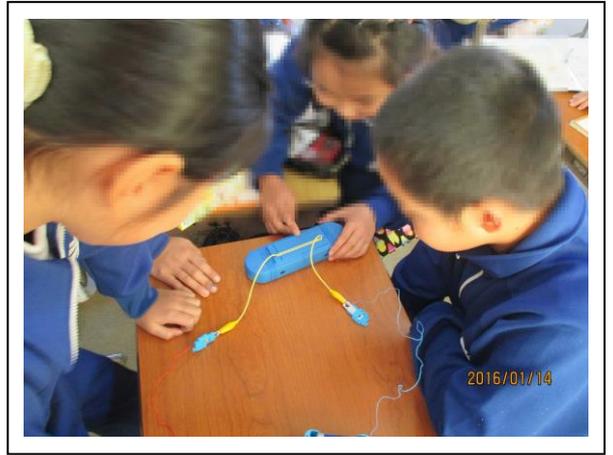
単元：「明かりをつけよう」

目標：電気の通り道である「回路」について理解する。

内容：

理科の「明かりをつけよう」の単元で、乾電池と豆電球を結んで明かりをつける学習をした。その時、電気の流れ道のことを「回路」ということを学習した。

電気の流れる様子は、目には見えない。だが回路に検流計を入れることで、電気の流れる様子が観察でき、「回路」を実感できた。



児童・生徒の感想：

- ・乾電池からでてきた電気が、導線や豆電球を通っていることが分かって面白かった。四角いところに明かりが順番についていくのがおもしろかった。
- ・回路のスイッチを切ると、検流計の明かりもストップした。スイッチを入れてあげると、そこから動き出してまたずっと動いていて、すごいと思った。
- ・ピコピコ動く明かりが、ゲーム機やパソコンに似ていた。同じような仕組みになっているのか知りたいと思った。
- ・乾電池を入れ替えると、電気の流れる向きも変わった。3回入れ替えたけれど、そのたびに流れる向きが変わっていて面白かった。
- ・電気の流れはいつも、+極から-極に流れていた。電池の極を入れ替えても+極から-極だった。そういう決まりなのかなと思った。